

おげんきですか!

私のまちの地域支え合い情報紙

いつもの顔に会える近所の雀荘
「マスクの中は、笑顔だよ(〜)」

第19号
2022. 6

美里町のお宝を紹介します！

暮らしの中のさりげない見守り・助け合い・健康づくりや介護予防など世代を問わない活動はたくさんあります。

その1

元気の花咲く「なでしこ会」

毎月第2・4火曜日に駒米集会所で、ペーパークラフト※を楽しんでいる『なでしこ会』のみなさん。もう10年以上活動を継続しており、作品づくりに加えて地域の貴重な交流の場になっています。

「足を使って集会所へ、頭で編み図を考え、目で確認しながら、手先を使って編み込んでいく。そして、口を使っておしゃべりを楽しむ！全身を使うから、ここに来ると元気になるんだよ！」との事。コロナの影響で、休止期間もありましたが、活動を再開したことで顔を合わせ交流することの大切さを再確認でき、毎日を元気に過ごす活力にもなっています。



なでしこ会のみなさん(駒米行政区)



※ペーパークラフトとは…紙を素材として立体物を制作する立体模型・立体構造物の総称です。なでしこ会のみなさんは、バッグや小物入れ、コースター等を制作しています。

その2

交流を深めながら楽しく健康麻雀

『志賀町健康麻雀愛好会』は、毎月第2・4金曜日の午後、志賀町集会所で活動しています。人と人のふれあいを通して孤立、孤独を防止！そして麻雀を通して頭の体操と手の運動により認知症の予防に努めています。

年2回、賞品を用意して大会を開いており、4月下旬の大会には女性1人を含む12名が出場しました。手づくりの雀卓を囲み、冗談を交えて笑いを誘う方もいて、とても楽しそう。「町内で活動している愛好会ともいつか交流戦をしてみたいね！」と皆さん。意欲は増す一方です。



志賀町健康麻雀愛好会のみなさん

「困った時、苦しいときは、助け合うのが人間でしょ！」

福島県沖地震直後の支えあい ～八幡行政区～

今年3月に発生した、福島県沖地震。県大崎広域水道が被災し、町内では一時断水に。そんな不安な中、各地域では支えあいの取り組みが行われていました。

八幡行政区では、自宅で井戸を保有している、^{とみたこうき}富田幸喜さん等が「**おらいの水、使わいん！**」と井戸水を地域へ提供し多くの方が水をくみに訪れ、安心して一夜を過ごすことができました。

八幡行政区では、東日本大震災後に、前区長の^{ほんまともお}本間伴夫さんが地域内の井戸水の水質検査を実施し断水に備えた体制を整えました。また、昨年7月には、自主防災組織と連携し、停電を想定した訓練を実施。発電機を使った井戸水の汲み上げの訓練（試運転）を行いました。井戸水提供の体制整備と防災訓練、そして地域の協力と日頃のつながりやあったからこそ、不安な状況下でも地域の支えあいで困難を乗り越えることができました。



井戸水を地域へ提供した
^{とみたこうき}富田幸喜さん

困った時、苦しいときは、助け合うのが人間でしょ。だから、おたがいさまなんだよ。私も地域の方々にお世話になっている。冬には、近所の人に雪かきしてもらったりしていたから、少しでも役に立てて嬉しい！地域の人たちの顔も知ることでもできたしね。いがったや～。

佐々木区長さんも地域のためにがんばってくれている。本当に助かります。

前区長の本間伴夫さんが、井戸水の水質検査をして体制を整えてくれたのが活かされました。それから、昨年7月に訓練していたのも大きかった。まさに「備えあれば憂いなし」だね！地域に水を提供してくれた方々にも感謝です。



八幡行政区長・自治会長
^{ささきえい}佐々木英一さん



八幡・西原行政区民生委員
^{やまもとみみ}山本恵美子さん

断水時、水が運べない高齢者等へ代わりに富田さん家の水を汲んで配達しました。富田さん達のおかげで安心した人はたくさんいます。だから、まだまだこれからも元気でいてもらわないと困る！これからも地域の先輩としてご指導お願いしますね！

今回の出来事を通して、今まで知らなかった地域の方と知り合う機会にもなったそうです。つながりの芽は、芽吹いたばかりかもしれませんが、その小さなつながりが、いざという時の大きな安心になるはずです。

災害に備え、地域で話し合い・体制を整え・訓練する。それに加え、地域のつながりづくりも必須ですね！



今回の件で、「はじめまして！」の出会いもありました。

げんきだよ!

～私の秘けつをおすそわけ～

今回の
いきいき“元気人”



わたなべ きこ
渡邊菊子さん (80 歳)
中埜 3 区行政区

渡邊さんは、種から野菜づくりをしています。家を長く空けてしまうときは、近所の方が水やりを手伝ってくれるそう。“おたがいさま”の関係性が見えてきます。

※写真撮影時のみ、マスクを外しています。

～渡邊さんのげんきの秘けつ～

「くよくよせず、前向きに考えること」
「百歳体操で体力づくり」

Q. 今日も笑顔がまぶしいですね!

A. あはは (笑)。生まれも育ちも中埜だから、家族のようにお付き合いしている友人が多いの。お茶のみしながらおしゃべりして、たくさん笑います。病気もしたけど、くよくよ考えるより前向きに過ごしたいわね。

Q. 渡邊さんの元気の源は何ですか?

A. 野菜づくりや料理、洋裁、読書、それからレクダンスやボランティア活動など、何でもやります。地域の百歳体操に参加して体力の維持にも努めています。

Q. これからしたいことは何ですか?

A. コロナが落ち着いたら、地域のお茶のみ会で得意な歌謡曲を披露し、みなさんと一緒に楽しみたい。地域とのつながりをこれからも大切にしていきたいですね。



コロナ下の地域活動の

「なびすっぺ…」

一緒に考えます!



地域活動を行う中で、「コロナ下で、今までの活動ができない!」「地域活動へのモチベーションが下がった…」「活動休止期間が長くて、解散を考えている…」と、コロナ下の地域活動のすすめ方に悩んでいませんか?

美里町社会福祉協議会では、地域活動を行う団体のお手伝いをしております。無理のない範囲で感染対策を行いながら、“今”できることを一緒に考えます。美里町社会福祉協議会(☎ 32-2940)まで、お気軽にご連絡下さい。

私のまちの地域支え合い情報紙「おげんきですか。」

表紙の写真: 志賀町健康麻雀愛好会のみなさん

発行日
発行・編集

令和4年6月1日

美里町生活支援体制整備協議会 【美里町・社会福祉法人美里町社会福祉協議会】
〒987-0038 宮城県遠田郡美里町駅東二丁目 17-4 (美里町駅東地域交流センター内)
TEL: 0229-32-2940 FAX: 0229-32-5160 E-mail: misato@misato-wel.com